

野津交流館を利用しませんか？

野津交流館は、地域間交流による地域の活性化を図るため、平成18年に完成し、これまでに会議、レクリエーション、講座などで利用されてきました。館内は冷暖房を完備し、駐車場は20台駐車することができます。

今回は毎週水曜日にダンススクールを開催しているひかわスポーツクラブさんに、野津交流館を利用したの感想を聞いてみました。



このダンススクールは何人で活動していますか？

→ 20人です。

人員構成を教えてください。

→ 町内の小学1年生から6年生までが中心です。八代地域の子どもも参加しています。

野津交流館を使用するようになったきっかけは？

→ 氷川町でフロアが綺麗な場所で踊りたかったので、以前活動していた場所から移動しました。

使用してみての感想はいかがですか？

→ 空調もあり、交流ホールもトイレも綺麗ななので気持ちよく利用できています。

使用料（1時間につき）

- 交流ホール 町内 100 円、町外 200 円
- 和室 町内 100 円、町外 200 円
- 調理体験室 町内 200 円、町外 400 円



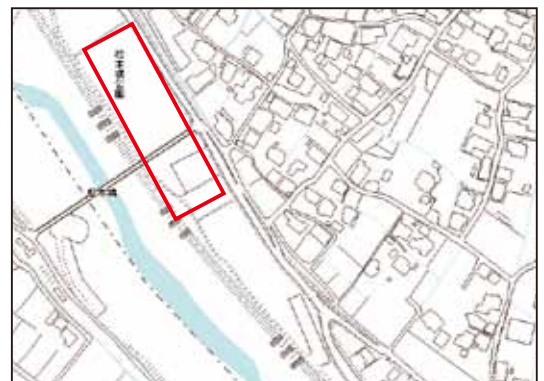
【お問い合わせ】 地域振興課 地域振興係 ☎62-2315

清流氷川流水対策協議会事業「氷川流域一斉清掃」参加者募集

氷川町のシンボルである「氷川」の自然環境を守り、より多くの町民が親しめる「氷川」にするため、氷川流域の清掃活動を行います。皆様のご参加をお待ちしております。

- ◆ 日 時 9月21日(土) 7時～8時 (小雨決行)
- ◆ 場 所 松本橋公園周辺 (島地地区)
- ◆ 募集期限 9月11日(水)

※協議会事業の一環で、当日は八代市鏡町、東陽町、泉町でも清掃活動が行われます。



清掃場所（島地地区）

【お問い合わせ・申込先】 企画財政課 企画係 ☎52-5850

夏休み中の学校の取り組み ～夏休みも頑張っています!～

今年も「サマー竜学」を開催しました!

竜北中学校区学校運営協議会では、7月30日(火)に「サマー竜学」を開催し、竜北西部小学校と竜北東小学校の6年生が、竜北中学校の生徒と交流しました。今回の目的は2つあり、1つ目は、お互いが仲良くなること。2つ目は、「ふるさと氷川」を学ぶことです。

開校式のあと、自己紹介でお互い顔見知りになってから、3つのコースに分かれて「氷川学」の講座を体験しました。

- ①「大地の恵みさがし」コース……氷川町の特産品や生産者の苦勞や喜び・やりがいについて学びました。
- ②「ふるさとに貢献した人はだーれ?」コース……氷川町出身の偉人・光永星郎さん(「電通」創始者)について学びました。
- ③「人に優しい氷川町」コース……氷川町が進める「人に優しいまちづくり」と将来について学びました。

講座のあとは、中学生がリーダーとなり、子どもたちで意見交換を行いました。「ふるさと氷川」について、深く知り、共に考え、自分の思いを表現する子どもたちの姿に頼もしさを感じました。氷川町の未来を担う、素敵な子どもたちです。



▲真剣に聞き入る生徒たち

先生たちも頑張っています!

授業がない夏休み、先生たちは研修で自分の力を高めます。学校の中で研修をしたり、いろいろなところで開かれる研修会に参加します。人権同和教育講演会やICT活用研修会などで頑張る先生たちの姿も素敵でした。

先生たちの夏休みの“熱い”学びは、8月26日(月)からスタートした2学期の教育活動に活かされています。



▲先生たちも一生懸命学びます!

【お問い合わせ】 学校教育課 学校教育係 ☎52-5859

人権啓発 コーナー

「人が尊重され、 生きがいを感じるあたたかい町」～洗面器一杯のお湯～

私は、昭和四十三年度氷川中学校を卒業しました。中学校二年生の社会科担当の先生の思い出です。その社会科の先生は授業の中で時々、戦時中のお話をしてくださいました。それは、第二次世界大戦が終結し、捕虜としてシベリアに抑留され、苦勞された捕虜生活のお話でした。食事の量が少なく、栄養不足でお腹を満たすために、ジャガイモ収穫労働作業中、仲間でスポンの中に隠して見つからないように収容所に持って帰り、飢えを凌がれたそうです。

さて、この表題の「洗面器一杯のお湯」についてです。労働作業後の初めての入浴があったそうです。初めての入浴なので期待して待っていると、お湯は洗面器一杯だったそうです。これで満身に体を洗えるわけがありません。びっくりされたそうです。どうにか洗面器一杯のお湯で対応されたそうです。このお話を聞いた時、想像も尽きませんでした。ただ、戦争が及ぼす影響がいたるところにあるのだと思いました。捕虜生活で多くの人が亡くられています。大変辛く想像を絶する生活を送られた事と思います。

私は、入浴し洗面器にお湯を入れる時、先生のお話を時々思い出します。戦争で関わった国の大勢の人々が、亡くなられたことは周知のことです。そして、今なお世界のどこかで争い事が起きています。人が傷つき、今まで生活していた状況が、一変し、変わり果てた映像が流れてきます。どうにか話し合いで解決できないものか。と思います。平和の時間が長く続くことを願います。

「人が尊重(そんちょう)され、生きがいを感じるあたたかい町づくり」を推進しましょう。

【お問い合わせ】 生涯学習課 地域人権教育指導員 田副 稔 ☎52-5860